

2022年度 職員自己点検シート（5段階評価）

【1】 保育の在り方、子どもへのかかわり方	取り組み状況
①朝の登園時は特に視診を忘れずに、子どもの体調が悪くないか確かめている。	4.2
②子どもの話をよく聞き思いやサイン、心の動きを推察し、基本的欲求が十分に満たされるよう配慮している。	4.0
③子どもとの温かなやり取りやスキンシップを常に心がけている。	4.3
④子どもの話をよく聞くようにしている。	4.4
⑤子どもを褒めたり励ましたりすることで、子ども自身が自信をもっていくようなかかわりをしている。	3.9
⑥クラスに関係なく、情報を共有しながらその場にいた保育者が適切な言葉かけや対応をしている。	3.9
【2】 保育者としての資質や良識	
①保護者に対し、子どものことや保育のことをわかり易く話すことができ、保護者との信頼関係をつくることに努めている。	4.1
②保育者の人間性が子ども達に影響を与えることを自覚している。	4.7
③子どもや保育者との対応には、平等を欠かさないようにしている。	4.5
④朝と帰りのあいさつは親しみを込めて行い、感謝の気持ちを言葉などで表している。	4.4
⑤服装、髪型、身だしなみなど、安全性に配慮し、清潔感のあるものを心がけている。	4.3
⑥子どものこと、クラスの出来事などで重要なことは園長や主幹に報告・連絡・相談している。	4.3
【3】 保護者への対応・守秘義務	
①子どもの様子は、直接保護者と話をしたり、電話、連絡帳などを使って伝え合っている。	4.3
②子育てや就労を支えるために、保護者の気持ちに配慮しながら接するように努めている。	4.1
③保護者からの様々な要望については安易に受けたり、断ったりしないで、園長や主幹に報告や相談をしている。	4.6
④保育者や園の批判を軽はずみに話したり、プライバシーを漏らしたりしていない。	5.0
⑤保護者・園児に対する情報、および園の運営上の情報、保育計画等の情報については園長や主幹の許可なく使用、開示、漏えいしていない。	5.0
⑥丁寧な言葉と敬語を用いて話しかけ、相手の話も落ち着いてしっかりと聞いている。	4.0
【4】 保育者の専門性に関する研修への意欲・態度	
①研修会や研究会にはねらいをもって参加し、事前にその内容を確認したり自分なりの考えをまとめている。	3.4